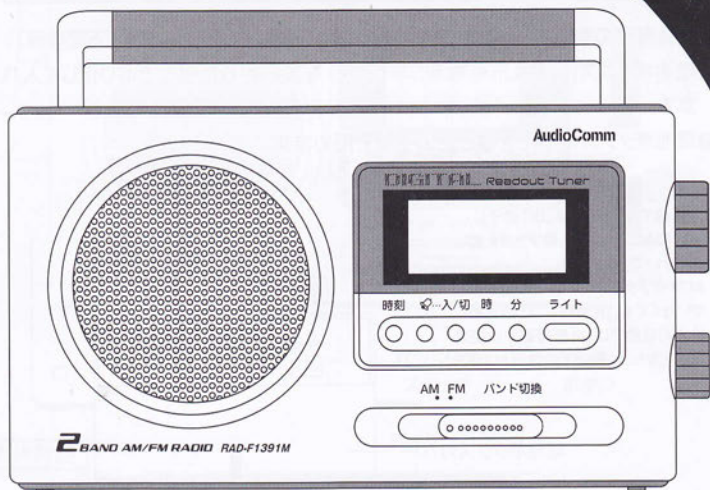


AudioComm®

2BAND

DIGITAL

Readout Tuner



AM/FM ポータブルラジオ

RAD-F1391M

保証書付取扱説明書

この度は、AM/FMポータブルラジオをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

正しく安全にご使用いただくため、

ご使用前に「保証書付取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保存してください。

安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違っただけの方は火災や感電による人身事故につながる可能性があります。

ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- 歩行中にラジオを聞く場合、特に踏切や交差点などでは周囲の交通に十分注意してください。交通事故などの原因となります。
- 屋外で使用していて雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止してください。



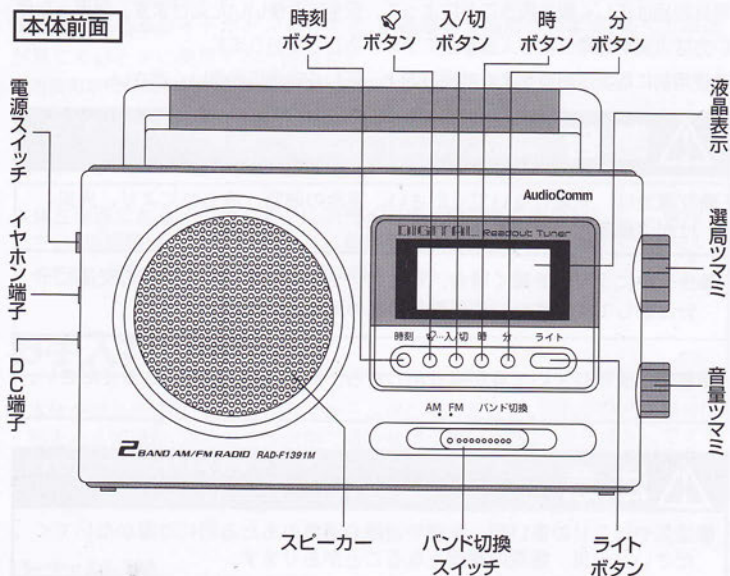
注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

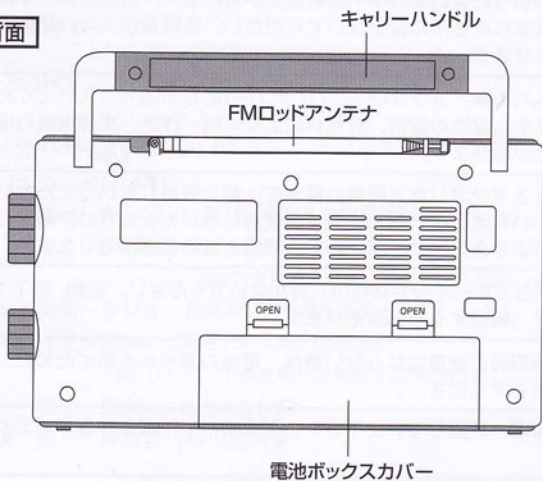
- 湿気やほこりの多い所、水滴や油煙や湯気のある所には置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かないでください。故障及び火災の原因となることがあります。
- 電池を入れる際、プラス(+)とマイナス(-)の表示通りに入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となることがあります。
- アルカリとマンガンなど異種の電池を一緒に使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けが周囲汚損の原因となることがあります。
- 本機を平らでない不安定な場所に置かないでください。転倒、落下で怪我をしたり、破損する恐れがあります。
- 本機を長期間ご使用にならない時は、電池の液もれを防ぐために、電池を取り出してください。
- 本機を修理、改造しないで下さい。発火したり、異常作動する恐れがあります。

各部の名称

本体前面



本体背面



電源について

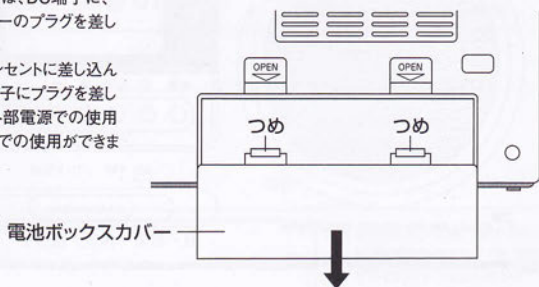
本機電源は、乾電池による使用、外部電源による使用の2電源方式を採用しています。

乾電池(別売)で使うには ※アルカリ乾電池のご使用をお勧めします。

⚠ 注意 乾電池を出し入れするときは、電源を切った状態で行ってください。

- ① 本体背面の電池ボックスカバー上部のつめを押し下げて外します(下図参照)。
- ② 電池ボックスに、単1形乾電池3本(別売)を表示された極性どおり正しく入れます。
- ③ 電池ボックスのふたを①と逆の手順で閉めます。

※乾電池での使用時は、DC端子に、別売のACアダプターのプラグを差し込まないでください。
ACアダプターをコンセントに差し込んでいなくても、DC端子にプラグを差し込んだ状態では、外部電源での使用状態となり、乾電池での使用ができません。



乾電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

- 乾電池が液漏れしたときは素手で液をさわらない。液が本体内部に残ることもあるので販売店、弊社お客様相談室にご連絡ください。液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐにきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。液が体や衣服に付いたときも、すぐにきれいな水で洗い、皮膚にけがや炎症あるときは医師に相談してください。

⚠ 警告

- 飲み込む恐れがあるので乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談する。

- 機器の表示に合わせてプラスとマイナスの極性を正しく入れる。
- 充電しない。火の中に入れてはいけない。分解・加熱しない。
- 金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取り外す。長時間使用しないときも取り外す。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池(アルカリ電池、マンガン電池など)を混ぜて使わない。

⚠ 注意

- 火のそば・直射日光の当たる所・炎天下の車中などの高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

電源について

コンセント(家庭用電源100V)で使うには

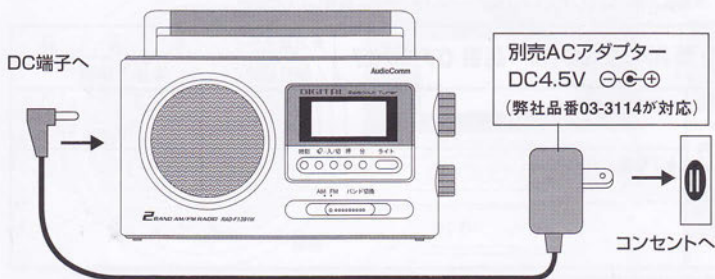
注意 別売ACアダプターを抜き差しするときは、電源を切った状態で行ってください。

別売ACアダプター(弊社品番03-3114)を使用して、本体左側面にあるDC端子とコンセントにしっかり差し込みます(下図参照)。乾電池での使用状態でも、自動的に家庭用電源での使用に切り換ります。

※旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源を切り、ACアダプターをDC端子とコンセントの両方から抜いてください。

※ご使用の際は別売ACアダプターの取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。

※極性に注意して正しく接続してください。



時刻設定の仕方

本機にはデジタル時計機能があります。以下の方法で時刻設定をしてください。

- ①電源スイッチを「切」にします。
- ②時刻設定ボタンを押しながら、「時」ボタンを押していくと、液晶の時表示が変わりますので正しい「時」に合わせてください。12時間表示でPMのみ液晶表示されます。
- ③時刻設定ボタンを押しながら、「分」ボタンを押していくと、液晶の時表示が変わりますので正しい「分」に合わせてください。以上で時刻設定完了です。



ラジオアラームの使い方



本機にはアラーム機能があります。以下の方法でアラーム設定をすると、ラジオによるアラームが可能です。

- ①電源スイッチを「入」にします。次章「ラジオの使い方」を参照し、アラーム時に流す放送局を選択して、目覚ましに最適な音量に調節します。
- ②電源スイッチを「切」にします。
- ③☞ボタンを押しながら、「時」ボタンを押して設定する「時」に合わせます。
- ④☞ボタンを押しながら、「分」ボタンを押して設定する「分」に合わせます。
- ⑤「入/切」ボタンを押すとアラーム設定完了です（液晶にアイコン表示）。
- ⑥アラーム時刻になると、ラジオが鳴ります。ラジオを切るときは「入/切」ボタンを押してください。

※アラーム設定完了後に☞ボタンを押すとアラーム設定時刻を確認出来ます。

※アラームを解除するときは「入/切」ボタンを押します（液晶のアイコン消える）。

ラジオの使い方



- ①電源スイッチを「入」にします。
- ②バンド切換スイッチで、「AM」「FM」を選びます（液晶に「AM」「FM」表示）。
- ③選局ツマミでお聴きになる周波数に合わせます（周波数はデジタル表示）。
- ④音量ツマミを回して音量を調節します。
- ⑤電源を切るときは、電源スイッチを「切」にします（時計表示になります）。

※本機はモノラル受信機です、ステレオ音声にはなりません。

※本機はTV1ch~12chとUHF放送は受信できません。

■AM放送の受信感度について

本体にAMフェライトアンテナが内蔵されていますので、本体を一番良く受信できる向きに変えてください。

■FM放送の受信感度について

本体背面上部にあるFMロッドアンテナを伸ばして、アンテナの向きを一番良く受信できる方角に向けてください。

⚠ 注意 ●音量を上げすぎない。耳への刺激が強くなり聴力に悪い影響を与える可能性が強まります。

液晶照明の使い方

本体正面にあるライトボタンを押すと、液晶が青く照明されます。暗くて液晶が見にくいときに使用すると便利です。

※液晶照明は約30秒程で自動的に切れます。

イヤホンの使い方

本体左側面にあるイヤホン端子に別売イヤホンのプラグを接続して、ご使用ください(接続時は音量を下げて、耳に負担のない音量に徐々にあげてください)。

※イヤホン使用時はスピーカーから音は鳴りません。

お手入れ方法

- 本体が汚れた時は、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい場合は、布をぬるま湯か、薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いたあと、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを痛めますので、絶対に使用しないでください。

主な仕様

- 受信周波数……AM:530~1605KHz
FM:76~90MHz
- アンテナ……FM:ロッドアンテナ
AM:内蔵フェライトアンテナ
- スピーカー……直径90mm 4Ω
- 最大出力……500mW
- 電源……DC 4.5V : 単1乾電池 3本使用(電池別売)
外部電源 : DC4.5V ⊖⊕
(ACアダプター弊社品番03-3114別売)
- 連続使用時間…ラジオ : 約80時間(音量中程度として)
- 最大外形寸法…幅244×高さ136×奥行78mm
(キャリアハンドルを倒した状態で、突起物含む)
- 質量……約650g(乾電池含まず)
- 付属品……保証書付取扱説明書

※仕様および外観は、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

保証書

〈持込み修理〉 無料修理規定

- 取扱説明書の注意にしたがった使用状態で故障した場合のみ無償修理いたします。
 - 保証期間中でも次の場合には有償修理になります。
 - 使用上の誤りまたは、自己修理、分解、調整、改造等による故障や損傷
 - お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障および損傷
 - (二) 消耗品の交換
 - (ホ) 本書の提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（販売シールや領収証でも有効です）、あるいは文字を書きかえられた場合
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障や損傷
 - (チ) 一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

型番 RAD-F1391M 品番 07-2797		★お買上日： 年 月 日
		保証期間： 本体 1年間
お客様	★お名前 様	
	★ご住所 (〒)	
	電話 ()	

販売店	★住所・店名・電話・印
	(印)

(注) ★印欄に記入の無い場合（販売シールや領収証でも有効です）は、無効となりますので必ずご確認ください

OHM 株式会社 オーム電機
埼玉県吉川市旭3-8 〒342-8502
<http://www.ohm-electric.co.jp>

お客様相談室

フリーダイヤル（無料）

0120-963-006

※携帯電話・PHS・公衆電話からはご利用になれません。

携帯電話・PHS・公衆電話からは
048-992-2735

修理ご相談センター

048-992-3970

電話受付時間 月～金/9:00～17:30
土/9:00～17:00
日、祝/休み

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店、または、オーム電機修理窓口にお問い合わせください。
- ※この保証書によって保証書を発行している者（保護責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。